

令和 7 年度 健康保険組合予算編成－早期集計結果（概要）について－

令和 7 年 4 月 23 日
健康保険組合連合会

I. 令和 7 年度予算編成（早期集計結果）の概要

- 1) 令和 7 年度予算の経常収支差引額は、3,782 億円の赤字となる見通し。約 8 割の組合が赤字へ。
- 2) 保険料収入は、被保険者数の堅調な伸びと賃金引き上げ効果を反映して、対前年度予算比 +4.3%（+3,829 億円）の増加。
- 3) 保険給付費は +1.5%（+785 億円）の増加とやや低い伸び。3～5 年度の新型コロナ等の感染症流行時に比べ、6 年度が落ち着いていることを見込んだ結果と考えられる。
- 4) 高齢者等拠出金は +0.4%（+142 億円）の増加。前期高齢者納付金は、4 年度の新型コロナ感染拡大の影響を反映（精算）した 6 年度納付金の大幅な増加（対 R5 年度比 +6.8%）の反動もあり、▲2.7%（▲435 億円）と減少する一方、後期高齢者支援金は、後期高齢者数の増加を反映し、保険給付費の伸びを上回り +2.5%（+576 億円）の増加。

令和 7 年度予算早期集計（速報値）：経常収支の状況

主な項目	令和 7 年度予算 早期集計【速報値】	令和 6 年度予算	対前年度比	
			増減額	伸び率
経常収入計（①）	9 兆 3,936 億円	9 兆 0,057 億円	3,878 億円	4.3%
保険料収入	9 兆 2,685 億円	8 兆 8,856 億円	3,829 億円	4.3%
経常支出計（②）	9 兆 7,717 億円	9 兆 6,640 億円	1,078 億円	1.1%
保険給付費	5 兆 1,524 億円	5 兆 0,739 億円	785 億円	1.5%
拠出金等計	3 兆 8,933 億円	3 兆 8,792 億円	142 億円	0.4%
（再掲）後期高齢者支援金	2 兆 3,353 億円	2 兆 2,777 億円	576 億円	2.5%
前期高齢者納付金	1 兆 5,577 億円	1 兆 6,012 億円	▲435 億円	▲2.7%
保健事業費	4,765 億円	4,672 億円	92 億円	2.0%
経常収支差引額（①-②）	▲3,782 億円	▲6,582 億円	2,800 億円	－

適用・ 財政指標	組合数	1,372 組合	1,379 組合	▲ 7 組合	－
	被保険者数	1,702 万 8,075 人	1,686 万 4,711 人	16 万 3,364 人	1.0%
	被扶養者数	1,104 万 3,419 人	1,139 万 8,772 人	▲35 万 5,353 人	▲3.1%
	平均標準報酬月額	40 万 2,342 円	39 万 1,645 円	1 万 0,697 円	2.7%
	平均標準賞与額	123 万 5,195 円	119 万 8,548 円	3 万 6,647 円	3.1%
	平均保険料率	9.34%	9.31%	0.03 ポイント	－
	実質保険料率	10.02%	10.26%	▲0.24 ポイント	－

（ポイント）

- ① 被保険者数は前年度比 16 万 3,364 人（+1.0%）増の 1,702 万 8,075 人、被扶養者数は▲35 万 5,353 人（▲3.1%）減の 1,104 万 3,419 人。
- ② 平均標準報酬月額は +1 万 697 円（+2.7%）増の 40 万 2,342 円、平均標準賞与額は +3 万 6,647 円（+3.1%）増の 123 万 5,195 円。
- ③ 平均保険料率は、前年度に比べ +0.03 ポイント増の 9.34%。単一組合：9.21%、総合組合：9.88%。
- ④ 加入者の健康維持・増進のための保健事業費は +92 億円（+2.0%）増の 4,765 億円。
- ⑤ 平均介護保険料率は、前年度に比べ▲0.03 ポイント減の 1.74%。

Ⅱ. 令和6年度の財政見通し（＊現時点での粗い推計）

- 推計結果を予算と比べると、保険料収入は、6年春闘による30数年ぶりの高い賃金引き上げの効果を反映し、約2,600億円の増加が見込まれる。一方、保険給付費は、新型コロナ流行時（3～5年度）の5%超の伸びが1%台に低下し、約2,600億円減少の見込み。結果として、赤字幅は縮小することが見込まれるものの、依然として約1,000億円の赤字となる見通し。
- なお、6年度の医療費は、4-9月は新型コロナの制度的対応の反動等から+0.3%と低いが、10-1月は+2.9%と、新型コロナ影響前と同程度の伸び率に戻っており、今後の動向を慎重に見極める必要がある。

	令和6年度予算	令和6年度実績見込 【推計】	予算比増減額
経常収入計	9兆0,057億円	9兆2,700億円	+2,600億円
保険料収入	8兆8,856億円	9兆1,500億円	+2,600億円
経常支出計	9兆6,640億円	9兆3,700億円	▲2,900億円
保険給付費	5兆0,739億円	4兆8,100億円	▲2,600億円
高齢者拠出金	3兆8,792億円	3兆8,500億円	▲300億円
保健事業費	4,672億円	4,700億円	-
経常収支差引額	▲6,582億円	▲1,000億円	+5,600億円

1. 令和6年度予算は、各組合が5年12月下旬発出の予算編成通知に基づき、6年1～2月にかけて同時点で判明している過去の実績及び直近までの動向等を踏まえて見込んだものである。
2. 令和6年度実績見込【推計】は、直近7年1月までの実績及び動向に基づく推計値である（＊各値は100億円単位で四捨五入）。
3. 端数処理の関係上、各項目の計と合計が一致しない場合がある。

Ⅲ. 高齢者拠出金の推移（令和元年度～7年度）

- 1) 令和7年度の拠出金は3兆8,933億円で、対元年度比+4,589億円（+13.4%）の増加。とくに後期高齢者支援金の伸びが大きく、同+3,580億円（+18.1%）の増加。
- 2) 義務的経費（法定給付費+拠出金）に占める拠出金負担割合は、依然4割を超える状況が常態化。
- 3) 65歳以上人口は、団塊の世代が75歳以上となる7年度以降も増加し、高齢者拠出金が増え続ける一方、現役世代の減少が続くため、拠出金の負担増は必至であり、今後の財政悪化が懸念される。

高齢者拠出金の推移

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
拠出金計（億円）	34,344	35,456	36,515	34,057	36,526	38,792	38,933
（再掲）後期高齢者支援金	19,773	20,060	20,133	19,641	21,526	22,777	23,353
前期高齢者納付金	14,550	15,391	16,379	14,413	14,999	16,012	15,577
増減額（億円）	▲192	1,112	1,059	▲2,458	2,469	2,266	142
対前年度比伸び率	▲0.6%	3.2%	3.0%	▲6.7%	7.2%	6.2%	0.4%
義務的経費に占める拠出負担割合	46.0%	48.1%	46.7%	43.6%	44.1%	43.9%	43.6%

1. 令和元年度～4年度までは決算、5年度は決算見込、6年度は予算、7年度は予算（早期集計）の値である。
2. 「拠出金計」には、退職者給付拠出金、日雇拠出金、病床転換支援金、流行初期医療確保拠出金、出産育児関係事務費拠出金を含む。